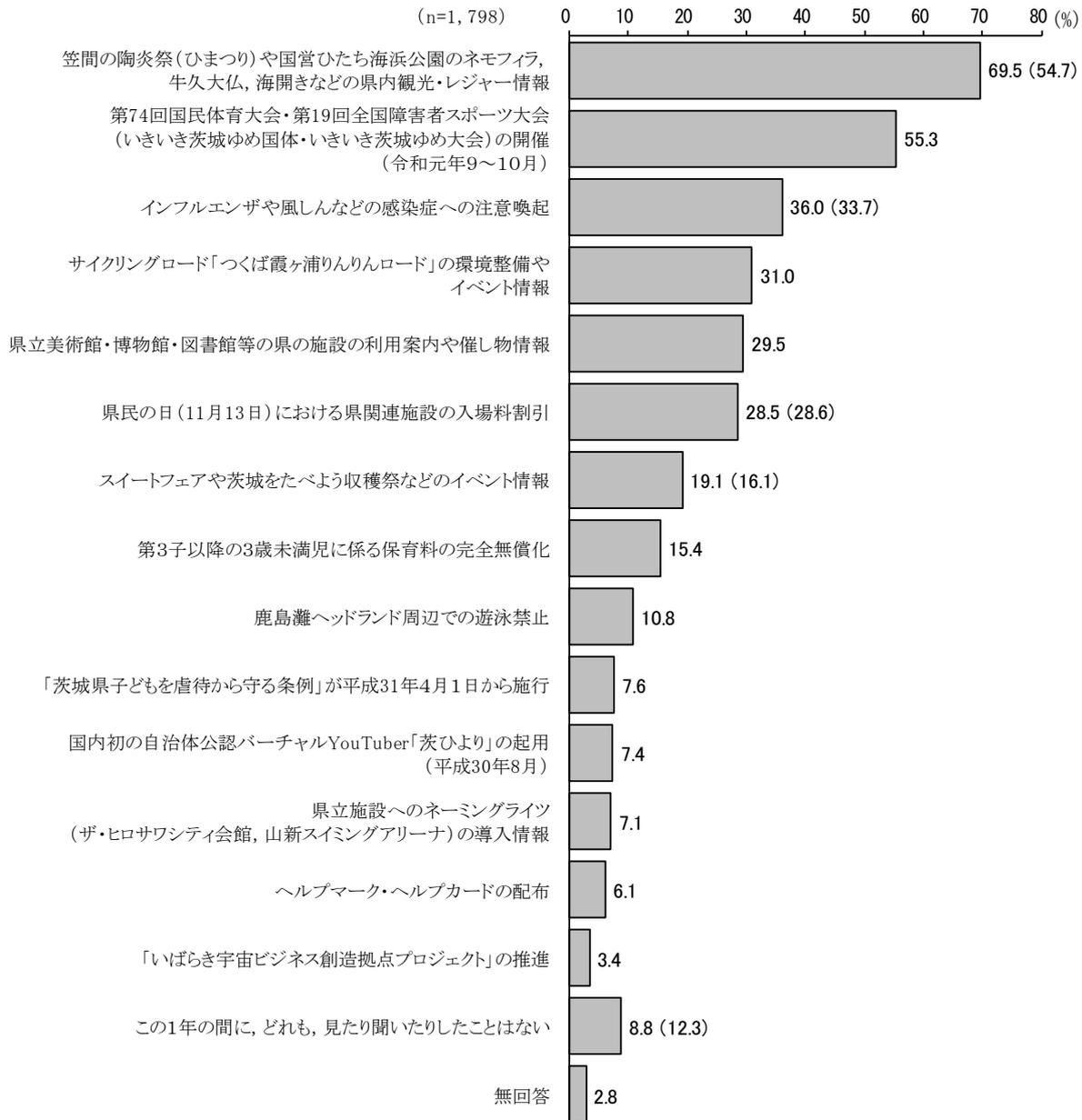


Ⅸ 広報活動

1. 見聞きしたことがある県政情報

－「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報」が約7割－

問30 県では，県政情報をさまざまな方法によりお知らせしています。県政情報の例としては，次のようなものが挙げられますが，あなたがこの1年の間に一度でも見たり，聞いたりしたものはどれですか。（〇はいくつでも）



※（ ）内の数値は，平成30年の調査結果

※「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報」は，平成30年では「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」，「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」は，平成30年では「インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起」

この1年の間に一度でも見たり、聞いたりした県政情報としては、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」（69.5%）が約7割と最も高くなっている。次いで、「第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会）の開催（令和元年9～10月）」（55.3%）が5割台半ば、「インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起」（36.0%）が3割台半ばで続いている。

－「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」が約15ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」が約15ポイント増加している。

－県央で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」が8割超、「県立美術館・博物館・図書館等の県の施設の利用案内や催し物情報」が4割超－

地域別でみると、県央は、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」（82.0%）が8割超、「県立美術館・博物館・図書館等の県の施設の利用案内や催し物情報」（42.1%）が4割超とそれぞれ最も高くなっている。

－県北で「第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会）の開催（令和元年9～10月）」が6割台半ば－

地域別でみると、「第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会）の開催（令和元年9～10月）」は、県北（65.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」が男性より約15ポイント高い－

性別でみると、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」は、女性（76.6%）が男性（61.5%）よりも約15ポイント高くなっている。

－女性で「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」が男性より約14ポイント高い－

性別でみると、「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」は、女性（42.4%）が男性（28.3%）よりも約14ポイント高くなっている。

－女性で「県民の日（11月13日）における県関連施設の入場料割引」が男性より約13ポイント高い－

性別でみると、「県民の日（11月13日）における県関連施設の入場料割引」は、女性（34.4%）が男性（21.5%）よりも約13ポイント高くなっている。

－女性の65～69歳で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」が8割台半ば－

性・年齢別でみると、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」は、女性の65～69歳（85.0%）で8割台半ばと最も高

く、次いで、女性の60～64歳（80.4%）で約8割と高くなっている。

－女性の40代で「第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会）の開催（令和元年9～10月）」が約7割－

性・年齢別でみると、「第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会）の開催（令和元年9～10月）」は、女性の40代（67.6%）で約7割と最も高くなっている。

－女性の65～69歳で「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」が約5割－

性・年齢別でみると、「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」は、女性の65～69歳（48.0%）で約5割と最も高くなっている。

－男性の70歳以上で「サイクリングロード「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の環境整備やイベント情報」が4割台半ば－

性・年齢別でみると、「サイクリングロード「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の環境整備やイベント情報」は、男性の70歳以上（43.6%）で4割台半ばと最も高くなっている。

－女性の60～64歳で「県立美術館・博物館・図書館等の県の施設の利用案内や催し物情報」が約5割－

性・年齢別でみると、「県立美術館・博物館・図書館等の県の施設の利用案内や催し物情報」は、女性の60～64歳（48.6%）で約5割と最も高くなっている。

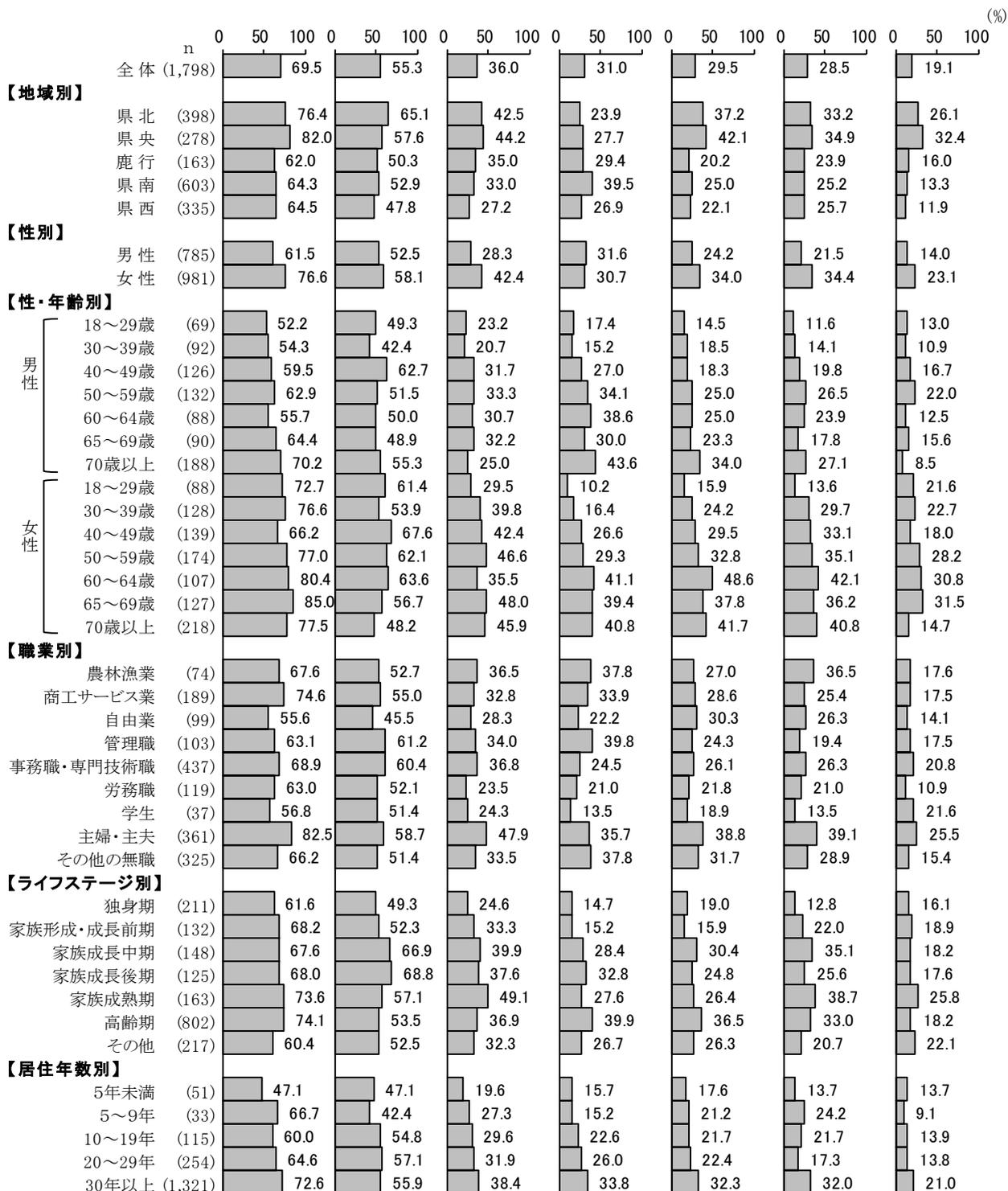
－主婦・主夫で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」が8割超、「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」が約5割、「県民の日（11月13日）における県関連施設の入場料割引」が約4割－

職業別でみると、主婦・主夫は、「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報」（82.5%）が8割超、「インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起」（47.9%）が約5割、「県民の日（11月13日）における県関連施設の入場料割引」（39.1%）が約4割とそれぞれ最も高くなっている。

図IX 30-1 見聞きしたことがある県政情報

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

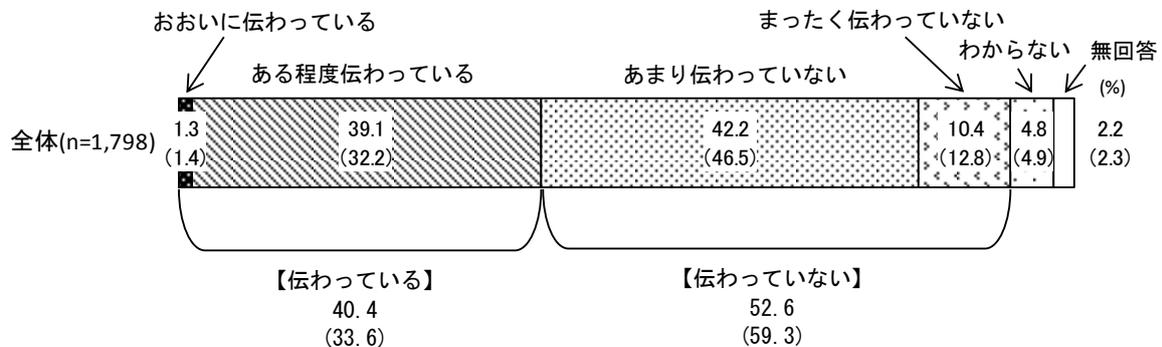
空間の陶炎祭 (ひまつり) や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報
 第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会 (いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会) の開催 (令和元年9~10月)
 インフルエンザや風しんなどの感染症への注意喚起
 サイクリングロード「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の環境整備やイベント情報
 県立美術館・博物館・図書館等の県の施設の利用案内や催し物情報
 県民の日 (11月13日) における県関連施設の入場料割引
 スイートフェアや茨城をたべよう収穫祭などのイベント情報



2. 県政情報の到達度

－【伝わっている】は約4割－

問31 県では、このような県政情報やそれ以外の多くの情報を、さまざまな方法でお知らせしています。県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスの情報などは、あなたに伝わっていますか。（○は1つだけ）



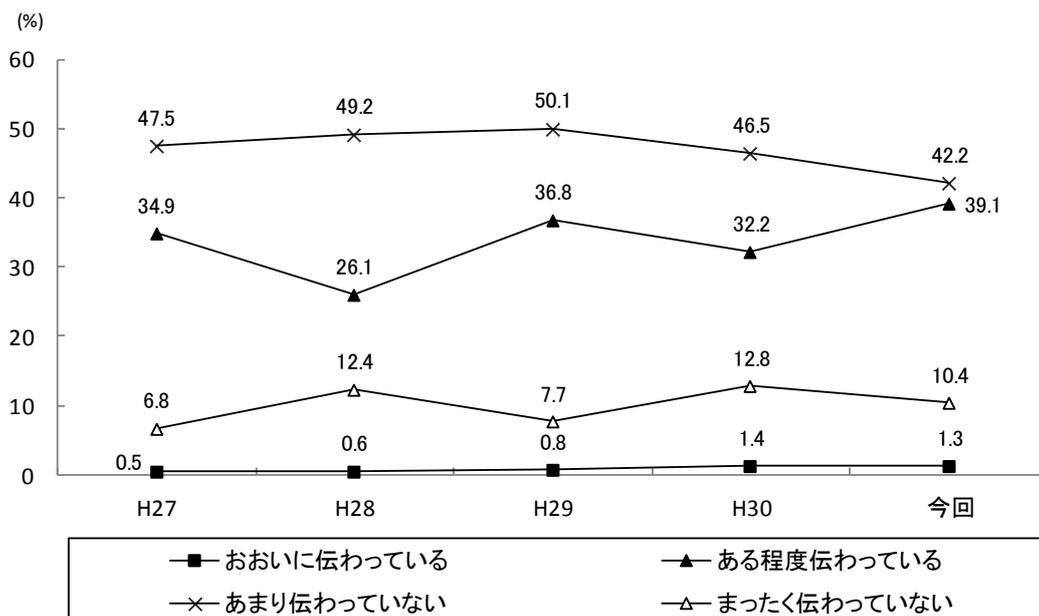
※()内の数値は、平成30年の調査結果

県政情報の到達度としては、「おおいに伝わっている」(1.3%)と「ある程度伝わっている」(39.1%)を合わせた【伝わっている】(40.4%)は約4割となっている。一方、「あまり伝わっていない」(42.2%)と「まったく伝わっていない」(10.4%)を合わせた【伝わっていない】(52.6%)は5割を超えている。

－【伝わっている】が約7ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【伝わっている】が約7ポイント増加している。

図Ⅸ 31-1 県政情報の到達度(時系列)



ー県北で【伝わっている】が約5割ー

地域別でみると，【伝わっている】は，県北（47.2％）で約5割と最も高くなっている。

ー女性で【伝わっている】が男性よりも約10ポイント高いー

性別でみると，【伝わっている】は，女性（44.6％）が男性（35.1％）よりも約10ポイント高くなっている。

ー女性の65～69歳，70歳以上で【伝わっている】が5割台半ばー

性・年齢別でみると，【伝わっている】は，女性の65～69歳（54.3％），70歳以上（55.5％）で5割台半ばと高くなっている。

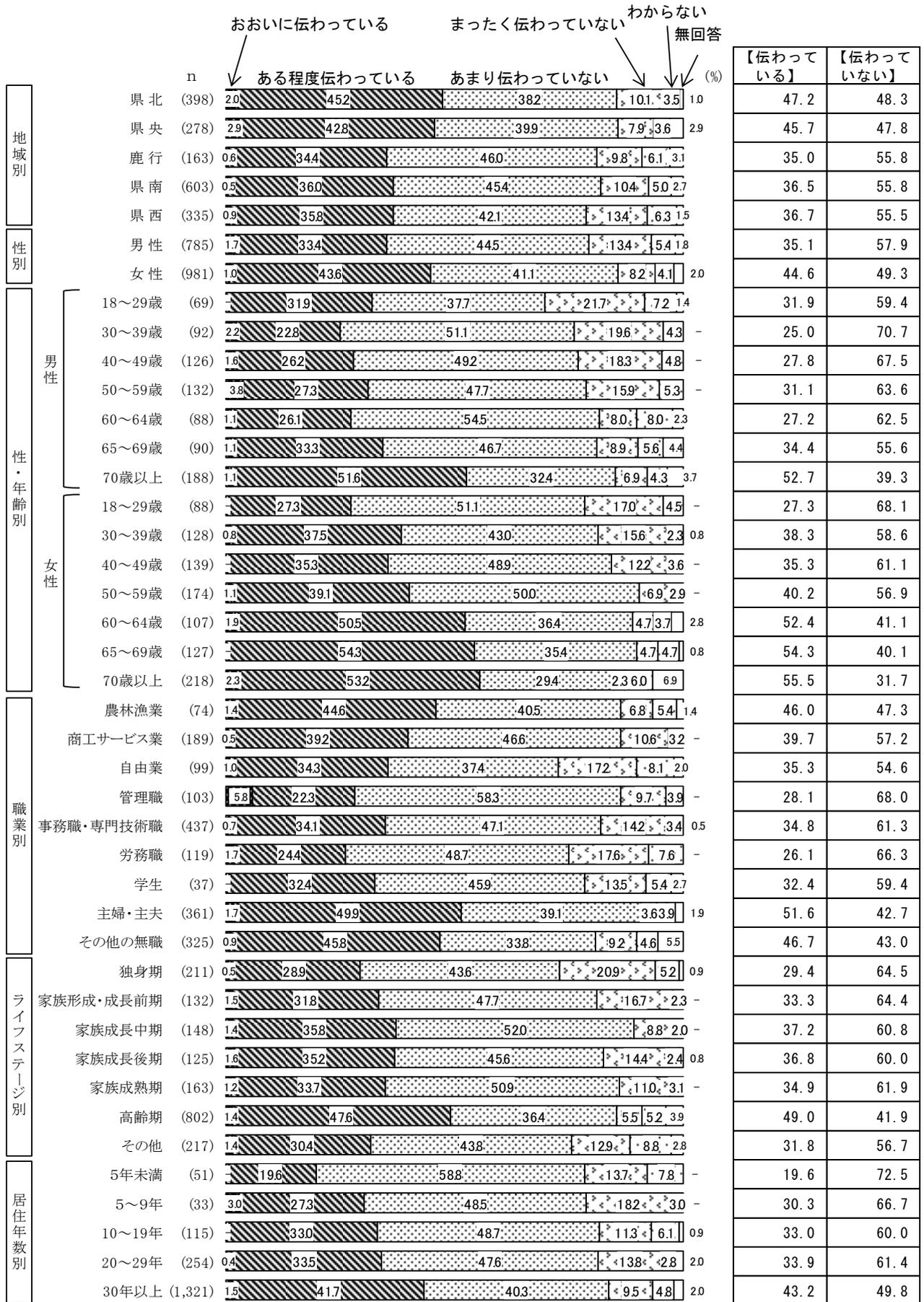
ー男性の30代，40代，女性の18～29歳で【伝わっていない】が約7割ー

性・年齢別でみると，【伝わっていない】は，男性の30代（70.7％）と40代（67.5％），女性の18～29歳（68.1％）で約7割と高くなっている。

ー主婦・主夫で【伝わっている】が5割超ー

職業別でみると，【伝わっている】は，主婦・主夫（51.6％）で5割を超えて最も高くなっている。

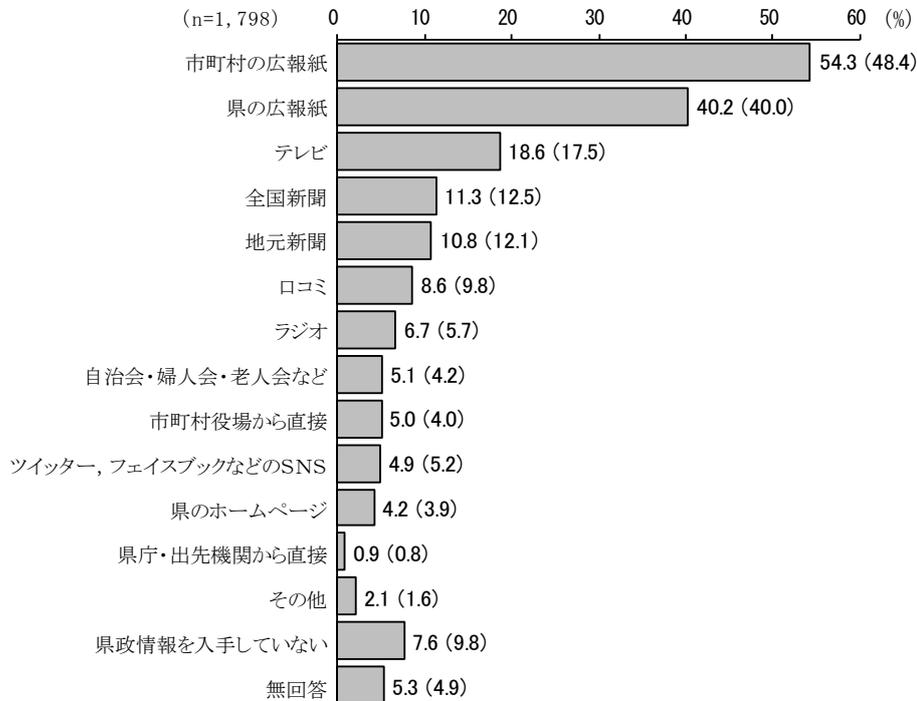
図区 31-2 県政情報の到達度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



3. 県政情報の主な入手先

－「市町村の広報紙」は5割台半ば－

問32 あなたは、県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスなどの県政情報を主にどこから入手していますか。（〇は3つまで）



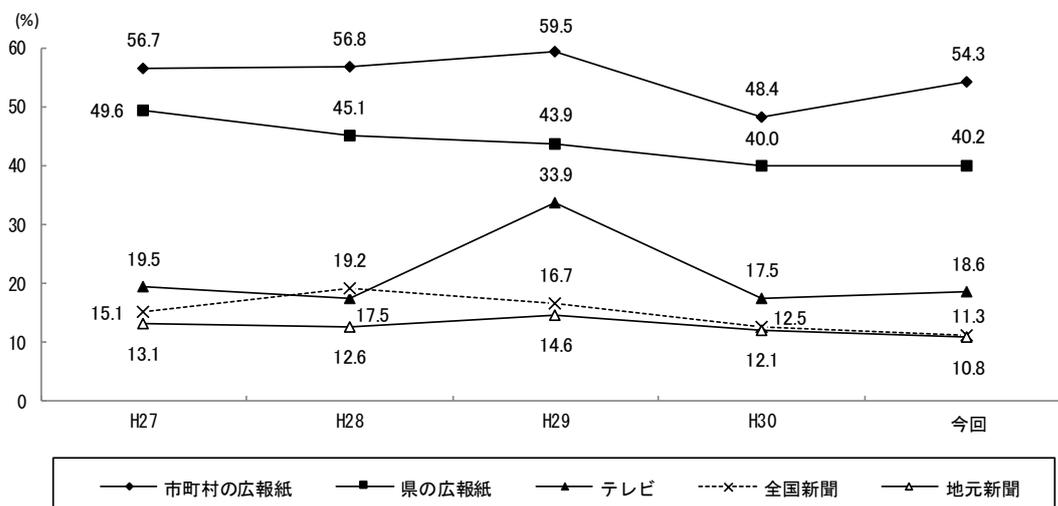
※()内の数値は、平成30年の調査結果

県政情報の主な入手先としては、「市町村の広報紙」（54.3%）が5割台半ばで最も高く、次いで、「県の広報紙」（40.2%）が約4割、「テレビ」（18.6%）が約2割で続いている。

－「市町村の広報紙」が約6ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「市町村の広報紙」が約6ポイント増加している。

図区 32-1 県政情報の主な入手先（時系列）



－女性で「市町村の広報紙」が男性よりも約11ポイント高い－

性別で見ると、「市町村の広報紙」は、女性（59.2%）が男性（48.7%）よりも約11ポイント高くなっている。

－女性の60代で「市町村の広報紙」が6割台半ば－

性・年齢別で見ると、「市町村の広報紙」は、女性の60～64歳（65.4%）と65～69歳（63.8%）で6割台半ばと高くなっている。

－男性の60～64歳，70歳以上で「県の広報紙」が5割台半ば－

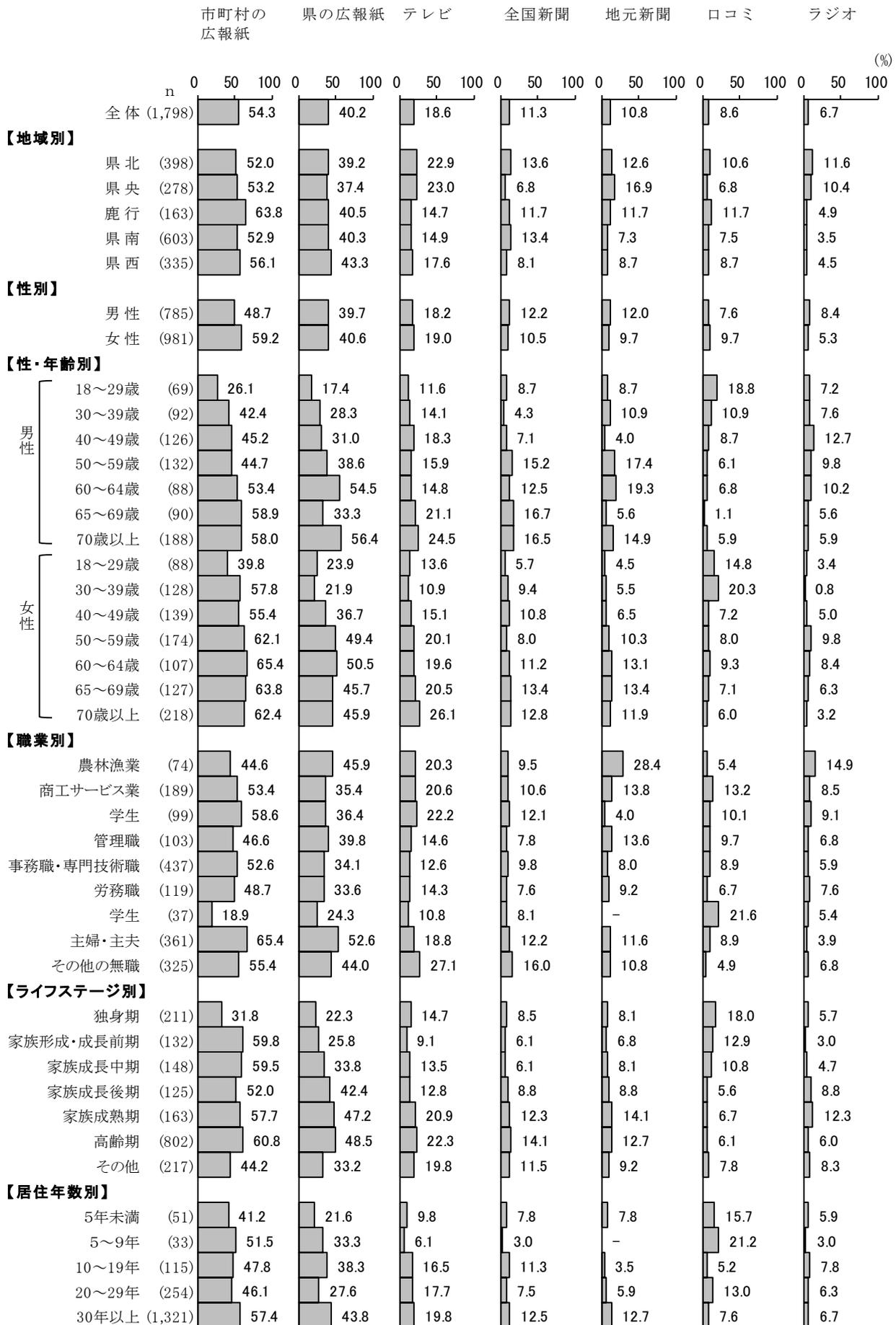
性・年齢別で見ると、「県の広報紙」は、男性の60～64歳（54.5%）と70歳以上（56.4%）で5割台半ばと高くなっている。

－主婦・主夫で「市町村の広報紙」が6割台半ば，「県の広報紙」が5割超－

職業別で見ると、主婦・主夫は、「市町村の広報紙」（65.4%）が6割台半ば，「県の広報紙」（52.6%）が5割超とそれぞれ最も高くなっている。

図区 32-2 県政情報の主な入手先

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

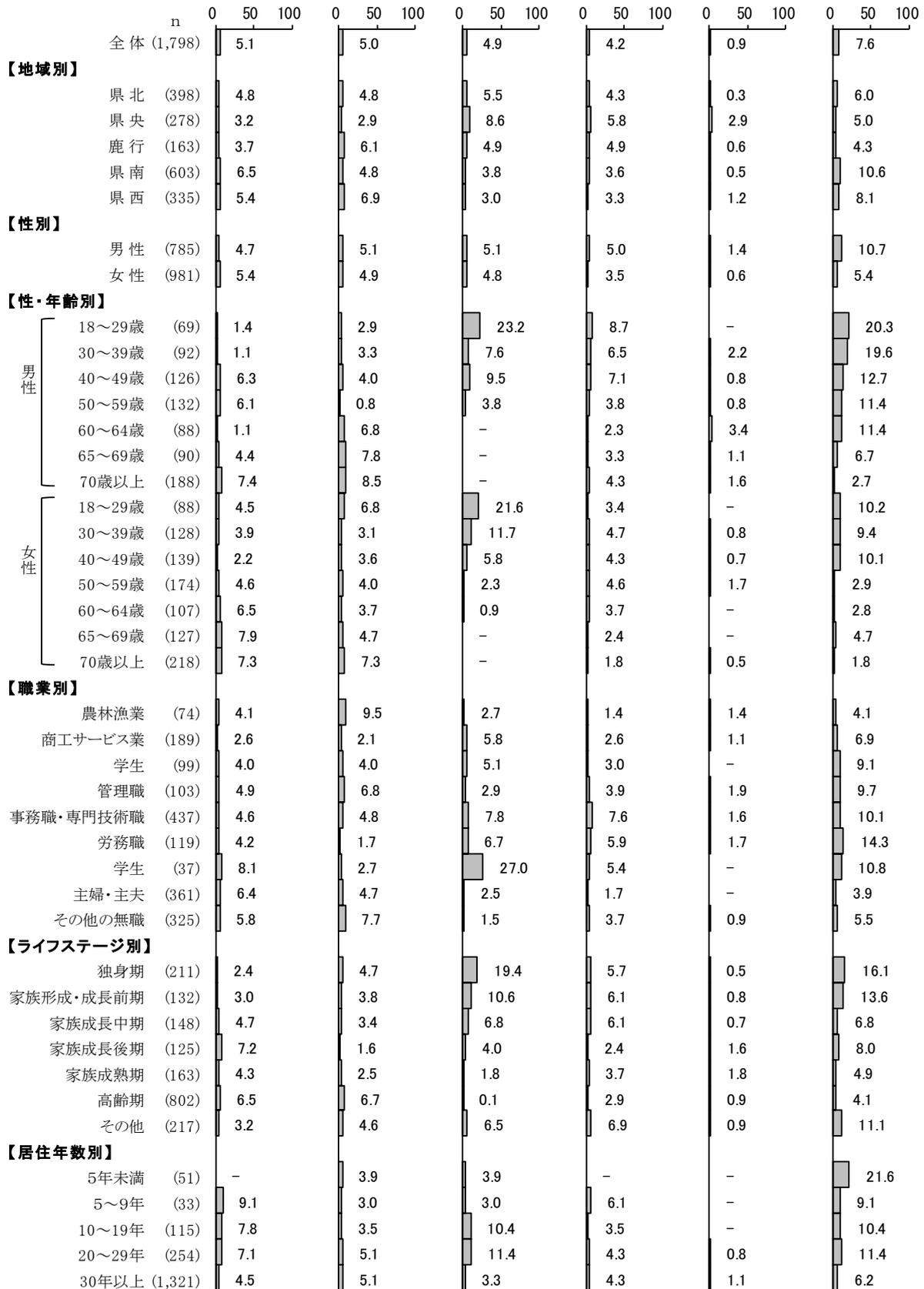


〈続き〉 図区 32-2 県政情報の主な入手先

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

自治会・婦人会・老人会など
 市町村役場から直接
 ツイッター, フェイスブックなどのSNS
 県のホームページ
 県庁・出先機関から直接
 県政情報入手していない

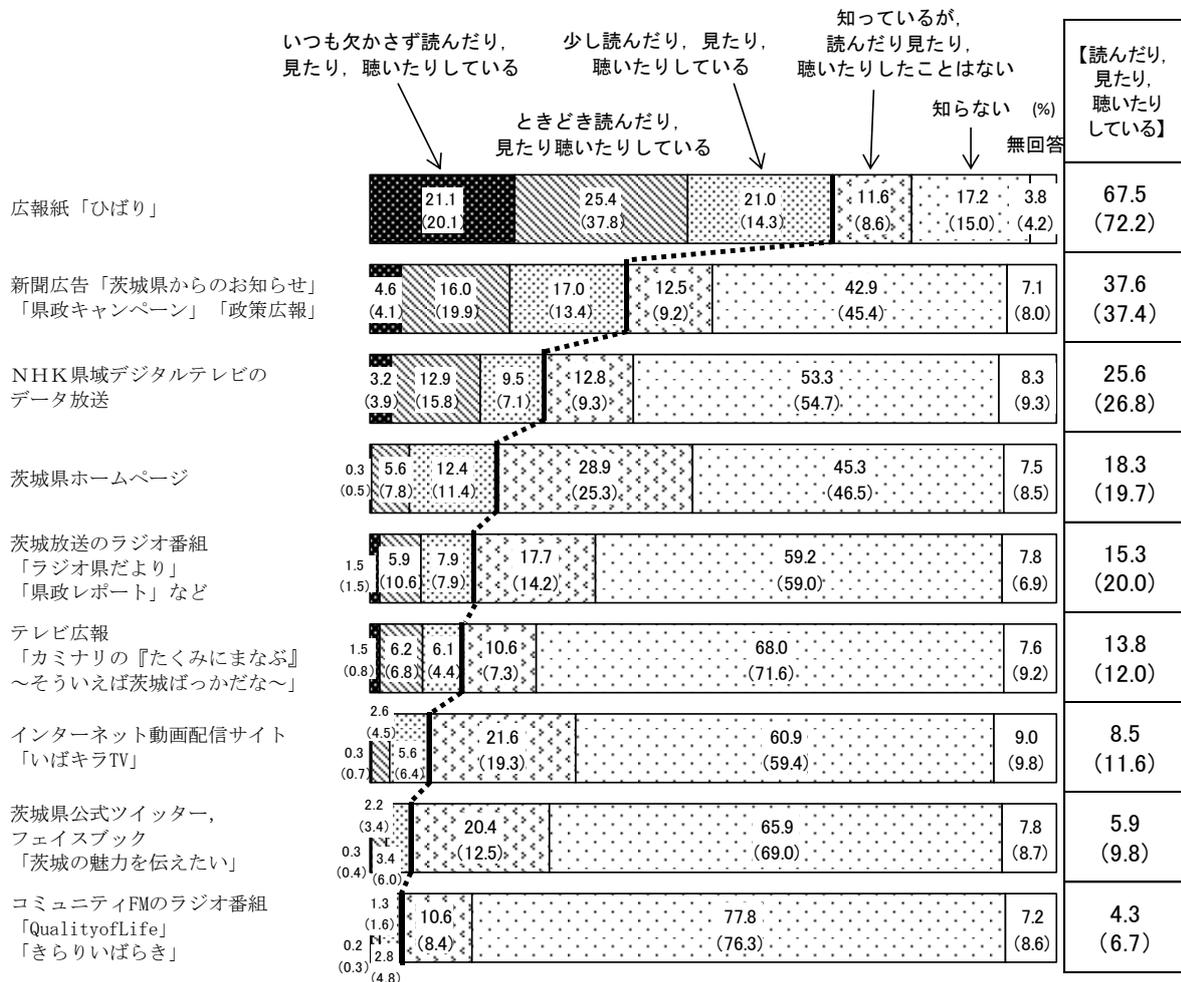
(%)



4. 広報媒体への接触状況

－「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしている】が約7割－

問33 あなたは、次にあげる県の広報を読んだり、見たり、聴いたりしたことがありますか。
(○は①～⑨について、それぞれ1つずつ)



※()内の数値は、平成30年の調査結果

※「少し読んだり、見たり、聴いたりしている」は、平成30年では「あまり読んだり、見たり、聴いたりしない」、
「【読んだり、見たり、聴いたりしている】」は、平成30年では「【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】」

広報媒体への接触状況について、「いつも欠かさず読んだり、見たり、聴いたりしている」、「ときどき読んだり、見たり聴いたりしている」、「少し読んだり、見たり、聴いたりしている」を合わせた【読んだり、見たり、聴いたりしている】でみると、「広報紙『ひばり』」(67.5%)が約7割と最も高く、次いで、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」(37.6%)が約4割、「NHK県域デジタルテレビのデータ放送」(25.6%)が2割台半ばで続いている。

－「広報紙『ひばり』」が約5ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、「広報紙『ひばり』」が約5ポイント減少している。

－女性で「広報紙『ひばり』」の【読んだり見たり聴いたりしている】が男性よりも約11ポイント高い－

性別でみると、「広報紙『ひばり』」の【読んだり見たり聴いたりしている】は、女性（72.7%）が男性（61.5%）よりも約11ポイント高くなっている。

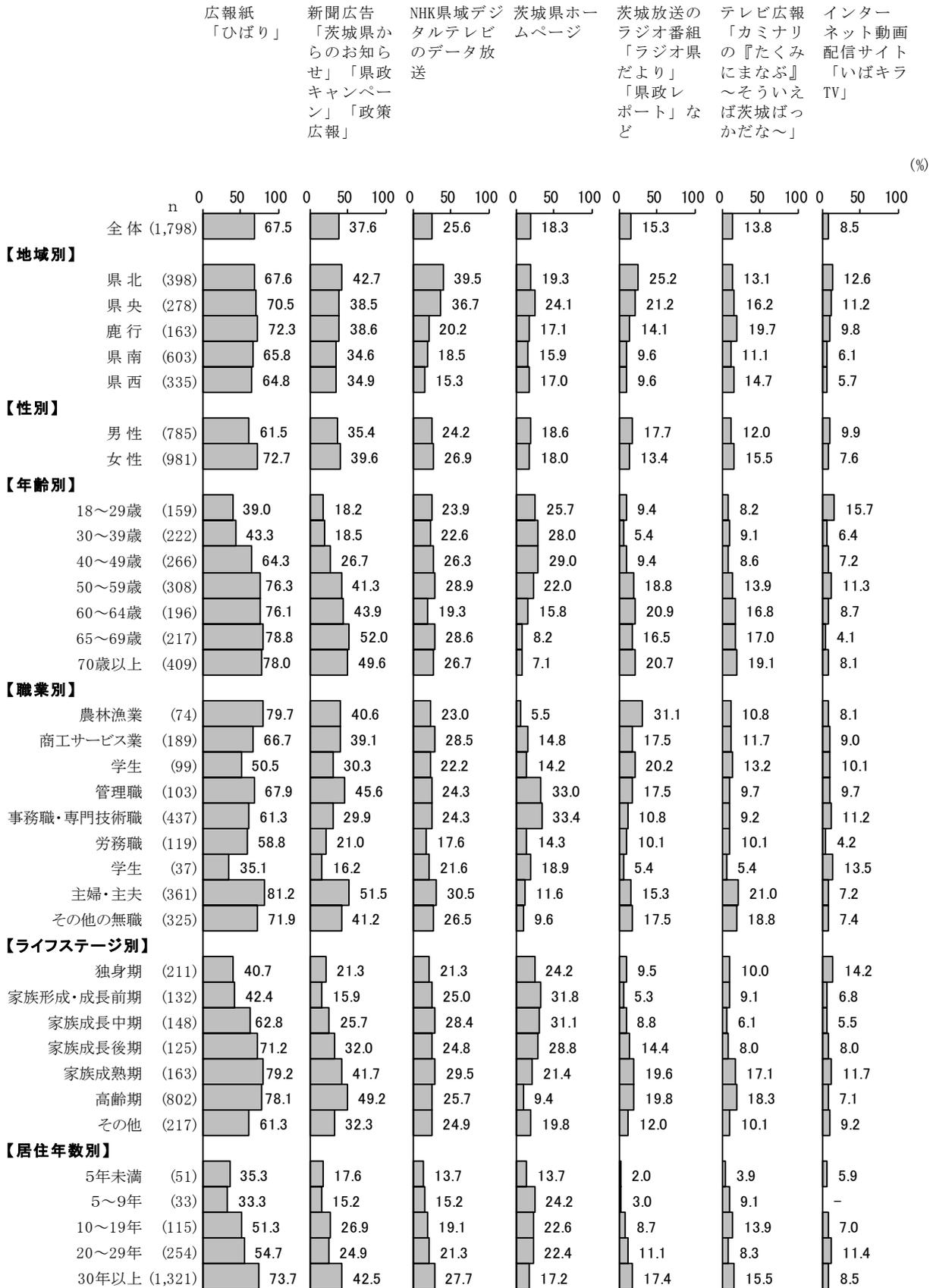
－65歳以上で「広報紙『ひばり』」の【読んだり見たり聴いたりしている】が約8割－

年齢別でみると、「広報紙『ひばり』」の【読んだり見たり聴いたりしている】は、65～69歳（78.8%）、70歳以上（78.0%）で約8割と高くなっている。

－主婦・主夫で「広報紙『ひばり』」の【読んだり見たり聴いたりしている】が8割超－

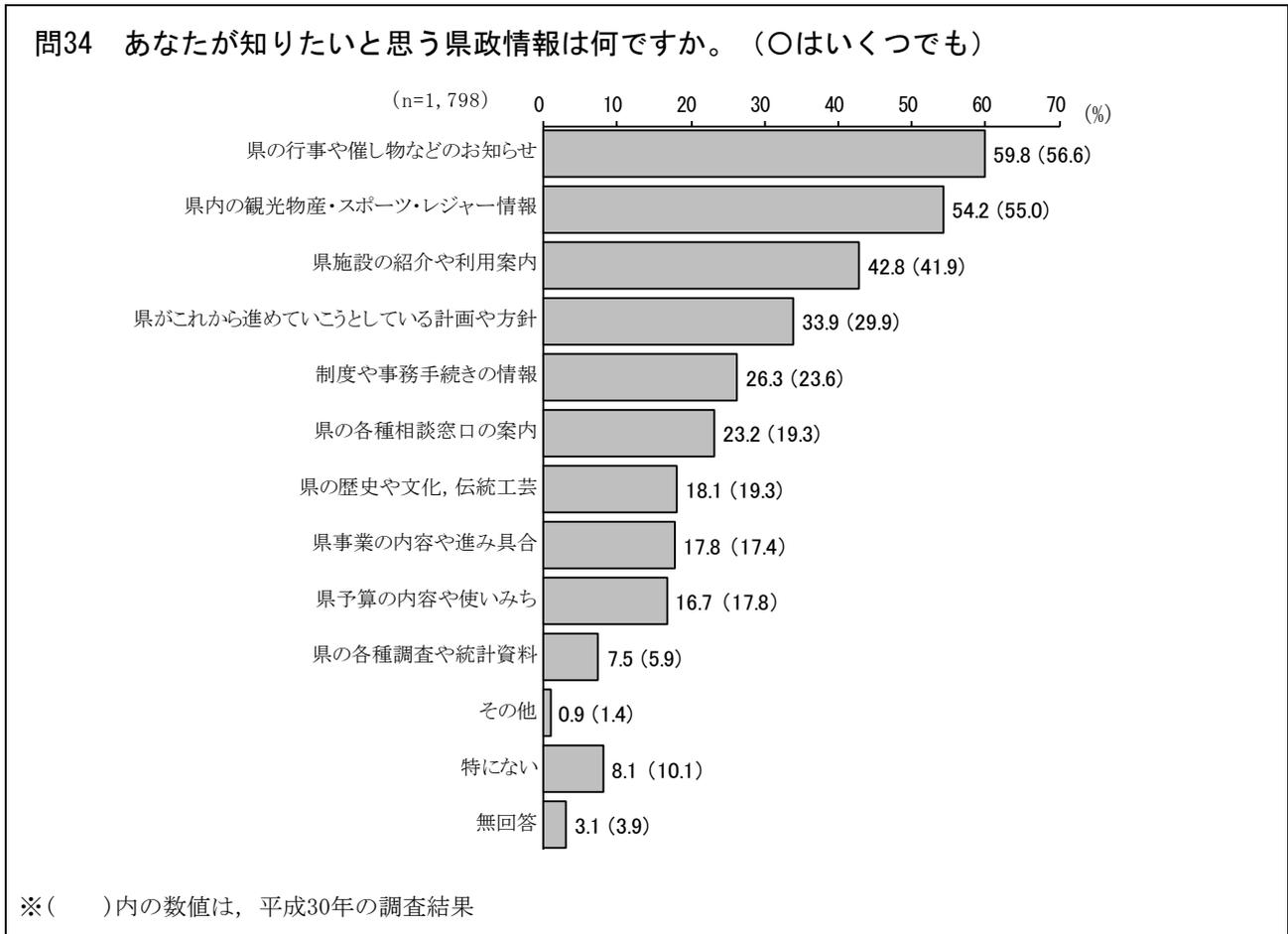
職業別でみると、「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしている】は、主婦・主夫（81.2%）で8割を超えて最も高く、次いで、農林漁業（79.7%）で約8割と高くなっている。

図区 33-1 広報媒体への接触状況（【読んだり，見たり，聴いたりしている】）
（地域別，性別，年齢別，職業別，ライフステージ別，居住年数別—上位7媒体）



5. 知りたい県政情報

－「県の行事や催し物などのお知らせ」が約6割－



知りたい県政情報としては、「県の行事や催し物などのお知らせ」(59.8%)が約6割で最も高くなっている。次いで、「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」(54.2%)が5割台半ば、「県施設の紹介や利用案内」(42.8%)が4割を超え、「県がこれから進めていこうとしている計画や方針」(33.9%)が3割台半ばで続いている。

－「県がこれから進めていこうとしている計画や方針」が4ポイント増加、「県の各種相談窓口の案内」が約4ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「県がこれから進めていこうとしている計画や方針」が4ポイント増加、「県の各種相談窓口の案内」が約4ポイント増加している。

－女性の30代から50代で「県の行事や催し物などのお知らせ」が約7割－

性・年齢別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、女性の30代(68.0%)、40代(69.8%)、50代(69.0%)で約7割と高くなっている。

－18～29歳の男女、女性の30代、40代で「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」が6割台半ば－

性・年齢別でみると、「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」は、男性の18～29歳(65.2%)、女性の18～29歳(64.8%)と30代(63.3%)、40代(65.5%)で6割台半ばと高くなっている。

図区 34-1 知りたい県政情報

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

